



オレンジ通信

<http://Bkan-hokuriku.info/>

全国B型肝炎訴訟北陸原告団・弁護団

〒920-0931 石川県金沢市兼六元町 9-40

金沢合同法律事務所

発行日：2021年1月4日 第20号

連絡先 富山 076-423-2466 富山中央法律事務所／金沢 076-221-4111 金沢合同法律事務所／福井 0776-30-1371 泉法律事務所

※ 新年あけましておめでとうございます。

去年はこれまで経験したことがないほど、ほぼ全てにおいて大きく変化した年でした。

私たちの活動も Web 会議が主流となり直接お会いできない状況が続いております。

こんな時だからこそ、繋がりを忘れずまた、大切な人を大切にする時だと強く感じました。

今年は基本合意 10 周年！歩んできた歴史を踏まえ進むべき道を皆様と一緒に歩んでいきたいです。

【 北陸原告団代表 川上ゆきえ 】



厚生労働大臣協議開催



原告団・弁護団は、国との基本合意に基づき、毎年 1 回、厚生労働大臣と直接協議を行っています。

9 回目となる今年も、2020 年 9 月 4 日に協議を行いました。

例年は、全国から 100 名規模の原告・弁護士が厚労省に集まり、大臣協議を行っているのですが、今年は、コロナ対策の関係で、田中全国原告団代表等 15 名が厚労省で大臣協議を行い、90 名を超える全国の原告・弁護士が Web 配信により傍聴する形式で行われました。

提出された大臣要求項目は A4 版で 33 頁。大臣との直接協議は、そこから極めて重要な項目をピックアップして行われます。

最も重要な項目は、重度肝硬変・肝がん入院医療費助成の拡充。国会請願署名等、長年の運動が実り、2018 年 12 月からようやく導入された重度肝硬変・肝がん入院医療費助成の制度。この制度は、利用者が非常に少ないことが問題になっていました。また、通院医療費は助成の対象にならず、しかも、年間 4 か月以上入院した人しか助成の対象にならないなど助成要件が厳しすぎることも指摘されていました。

今回、大臣に直接改善を要求したところ、**大臣は、①通院医療費も対象にする、②年間 4 か月以上という入院要件を、年間 3 か月以上に改める方向で予算の概算要求に盛り込むことを明言しました。**

そして、**今年 4 月から、新しい制度を開始したいと明言しました。**とても大きな成果です。

その他、数年にわたり原告団・弁護団と厚労省が協議をしながら完成させた中学生向けの副読本「B 型肝炎 いのちの教育」についても、大臣も「素晴らしい副読本」と評価した上、文科省と連携しながら、まずは教員へ配布するなど普及・配布に努めていきたいなどと回答しました。

今年の大臣協議では、大変前向きな回答が得られたと思います。私たちは、このような大臣協議等を通じて、肝炎患者のみなさまがより良い生活を営めるよう地道に活動を続けてきました。今後も着実に活動を続けていきますので、みなさま、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。 【 弁護士 西山貞義 】



【参加者原告の感想】 塚田 八郎(石川県)

9 月 4 日開催された大臣との定期協議はコロナ対策から ZOOM ウェビナーによって行われました。

協議内容は、医療費助成の件、真相究明に関する件及び副読本の活用普及に関する件が主な内容でしたが、加藤大臣(当時)はテキパキ応答されました。

特に、通院医療費への拡大、入院期間を 3 カ月に短縮することは、対象者にとって大きな朗報で前進したと思いました。その他、話す原告が決まっていた、議論の場や質疑応答のない会議であれば、会議のあり方として web で十分だと感じました。



【特集】オレンジ通信 20 号記念



NEW



前代表より「活動報告を紙で届けられたら！」との想いを受継ぎ 6 年（20 号）が経過しました。
『ほっこりするオレンジ通信』を目指して日々、ネタ探し奮闘中。皆様からの『ほっこり』ネタを大募集！【川上】

編集チームより

足かけ 6 年、気付けば 20 号。バックナンバーを振り返ると、原告団・弁護団の歩みを再確認できる、よいツールになったなあと感慨深いものがあります。お手元に無い方は、北陸弁護団ホームページにて是非ご覧ください。【中澤】

祝 20 号。オレンジ通信の記録は原告・弁護団の皆様の活動の足跡です。オレンジ通信のバックナンバーは北陸弁護団 HP でご覧いただけます。この 6 年間の活動を振り返り、また次の活動へとつながっていく力になるといいなあ。【村上】



約 4 か月に 1 回、定期的に発行を重ね、はや 6 年。20 号という節目に到達。成人式ですかね(笑)北陸三県の原告・弁護士で編集しているので、作業や会議は 6 年前からテレワーク。成人したオレンジ通信は、これからもテレワークスタイルで成長し続けます。65 号の定年までは頑張ります(笑) 【西山】

1 号からオレンジ通信のレイアウトを担当してきました。書体や文字の大きさなどを読みやすいように少しずつ変えたりしてきました。これからも皆様に読みやすい紙面づくりを心がけていけたらと思っています。【藤田】

肝臓に効く

Vol.03

ヨガレッスン!

ヨガで大切にしてほしいこと

ヨガでは呼吸が大切です。呼吸ができる程度の伸びて気持ち良いところを探してみてください。そしてヨガは、体を力を含めて変化させる!というものの、自分に優しさを向けて力を抜くことで少しずつ少しずつ体が緩んできます。自分に頑張れ!と応援することよりもいつもありがとうと、温かさを向けることをしてみてください。

COCO YOGA

講師プロフィール

北海道恵庭市で
ヨガインストラクターをしています。
「ゆうか」です。

私は、子宮頸がん予防ワクチンの副反応で起きる心身の不調と付き合っているなかヨガをはじめました。周りの方、地元恵庭市の沢山の方に助けていただき、元気になった今、恵庭市で、ヨガをするお手伝いをしたいと思っています。ヨガのクラスの時間は、頑張り続けている自分自身のお休みの時間として過ごしていただけると嬉しいです。



全米ヨガアライアンスRYT200取得
ヨギーインスティテュート認定200時間
ヨガニドラー指導者資格取得
筋調整ヨガインストラクター認定
アロマテラピー検定2級取得
生活リズムアドバイザー取得
バクティフローヨガベーシック修了
陰ヨガTTC 修了

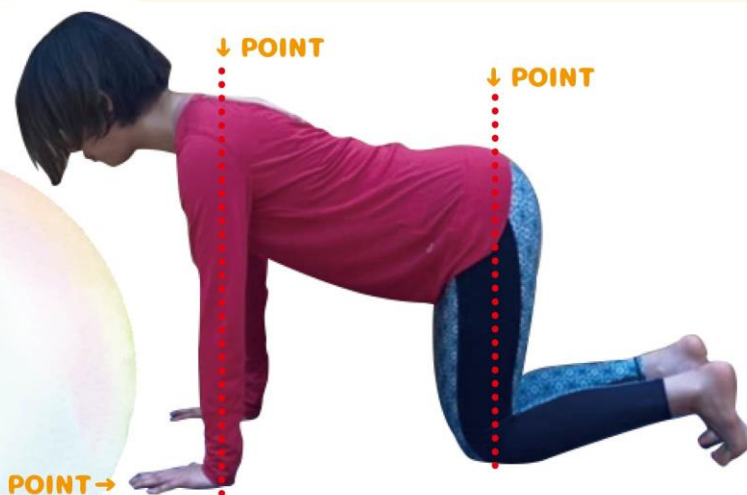
自律神経に働きかける

肝臓は、自律神経と関係の深い臓器といわれています。自律神経が整うことで疲れにくくなったり、夜眠りやすくなるかもしれません。

① 四つ這いの姿勢になります。

- *肩の真下に手首。
- *手の指を大きく開く。
- *腰の真下に膝。

② ゆっくりと息を吐きます。



③ 息を吸いながら背中全体をのぞかせます。

- *両手で床を下に押す力で胸を上へ引き上げて、耳と肩を遠ざけます。



④ 息を吐きながら背中を丸くします。

- *おへそを背中にしまい込んで、腰も丸くします。



⑤ ③と④を5回繰り返します。

- ⑥ 息を吐いて背中を丸くしたところから吸って背中をまっすぐな位置に戻します。



「原告意見陳述」(法廷で述べられた「意見陳述」をご紹介します)

私の父は、B型肝炎ウイルスを原因とする肝臓がんにより死亡しました。私が中学1年生のころでした。そのときのことは、今でも鮮明に覚えています。

そして、私も、そのころには、自分がB型肝炎ウイルスに感染してしまっていることを知っており、定期的に病院に通院している状況でした。

私もとうとう慢性肝炎を発症してしまいました。病気が少しずつ進行しており、B型肝炎ウイルスで亡くなった父のことを意識せざるをえません。あと10年足らずで父が亡くなった年齢になります。本当に恐ろしい気持ちになります。父の時代と比べると薬も良くなり、私が父と同じような状況になる可能性はかなり低くなっているとは思いますが、それでも、「父と同じ年齢で私にも何かあるかもしれない」と思っています。本当に辛いです。

このように、私は、幼いころからとても大きな精神的な負担を感じているのですが、それ以外でも、小学生のころから定期的に通院しなければならず、経済的にも精神的にも大きな負担になってしま

たし、歯医者等で感染者であることの申告を余儀なくされたり、診療を最後にされたり、日々の生活でも、とても不自由で負担感の強い生活を余儀なくされています。新型コロナの関係でも、感染症には非常に敏感になってしまい、差別偏見等の話を聞くと、自分も辛い気持ちになりますし、人を信じるのが難しいと感じることもあります。

実は、私の母も、集団予防接種の際の注射器の使い回しによりB型肝炎ウイルスに感染しています。

父も母も和解済みで、今回、私も和解することができました。私の一家は、父も母も、私も、B型肝炎ウイルスにより人生が大きく狂ってしまったのです。本当は、和解なんかよりもB型肝炎ウイルスに感染していない人生が欲しいです。国には、私たちのように、一家全体の人生が狂ってしまった一家があるということを十分に認識していただき、二度とこのような一家を生まないように政治や行政を行っていただきたいと思っています。

【富山県・30代男性】



NO.12

我らの！弁護団員のご紹介

なかむら ま き お

中村万喜夫弁護士

富山中央法律事務所(富山県)

北陸弁護団での役割は？…歯科 PT、医療系教育啓発 PT、恒久対策

好きな食べ物は？…タケノコご飯、お好み焼き、きんぴらごぼう

趣味は？…ビリヤード、ダイエット

今までで1番嬉しかったことは？…司法試験合格(長くかかったので…)

一目惚れをしたことは？…何度もあります

弁護士になろうと思った理由は？…検察官で働いていたときの経験から、最悪の事態になる前に困っている人や弱い立場の人の援助をする必要があると感じたため。

最後に一言…新型コロナウイルスがいつ収束するのか先が見えない状況ですが、感染対策を徹底しながら、みんなで乗り切りましょう。また、交流会で皆様と顔を合わせる日を楽しみにしています。



■B型肝炎訴訟の提訴者数・和解者数

(2020(令和2)年12月4日現在)

【全国】提訴者数 31764 人

(被害者数 28927 人)

和解者数 26955 人

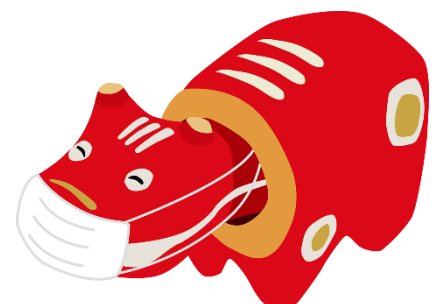
(被害者数 24213 人)

【北陸】提訴者数 814 人

(被害者数 729 人)

和解者数 672 人

(被害者数 587 人)



全国原告団 Web 交流会 2020 年 12 月 5 日

全国約 186 名が参加した web 交流会が行われました。初めての試みでした。原告・弁護士で組織された“熱血実行委員会”が『元気に再会、笑顔で再開！』をテーマに開催。笑顔にさせて頂きました。教育啓発活動等でお世話になっている操教授や田中教授も、当団体への関わりの裏話や苦労話を笑顔で教えてくださいました。お話される際はマスクをしておられますが目は笑顔です♪

桂福丸師匠の肝臓落語！とてもほっこりと心が温まりました。みなさまには笑い声が届けられないのが本当に残念。

原告と弁護士が協力して初めての web 交流会を開催し、無事成功しました。原告と弁護士が支えあっていることを改めて実感し、感謝の心が溢れた交流会でした。 【 北陸原告団代表 川上ゆきえ 】



広島高裁・除斥期間問題控訴審期日等のご報告

発症後 20 年以上経過すると給付金が大幅に減額されるという「除斥期間」の問題。原告団・弁護団ではこの不合理な除斥期間の問題を解決すべく、各地の裁判所で争っています。11 月 20 日には、広島高裁で、控訴審第 1 回弁論が開かれました。

原告は、20 年以上前に肝炎を発症し、その後沈静化したものの再び肝炎を発症した方。一審広島地裁は、発症後 20 年以上経過し除斥期間が経過したため権利が消滅したと判断し原告敗訴の判決。

この日の弁論では、原告側は一審判決を批判する主張を展開。また、原告本人が意見陳述し、「国が権利消滅を主張できるのは自分たちが偶然早く発症に気づき、偶然医療記録が残っていたからに過ぎない。長く患った人が救済されないのは非常識。」と訴え、裁判官も真摯に耳を傾けていました。今後も控訴審は続きます。また、最高裁にも除斥問題の事件が係属中であり、弁護団が最高裁への要請等も行いました。

【 弁護士 春山然浩 】

金沢大学患者講義 2020 年 12 月 1 日

去る 2020 年 12 月 1 日、金沢大学医学部において、「患者の声」を伝える授業を行ってまいりました。では、「患者の声」とはどういった声なのでしょう。

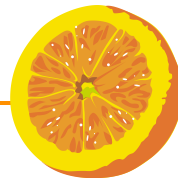
2017 年厚労省の研究では、B型肝炎患者の 22.1%が差別など嫌な思いをしたとの回答があり、では何処で嫌な思いをしたかといえ、病院関係が 56.4%とのデータがあります。

私達は、病気を予防するはずの医療の現場でB型肝炎に感染してしまい、そのために通院している医療の現場で、更なる差別偏見を受けている現実があります。その現実を患者自らが語ることで、学生達に正しく理解してもらおうと同時に、なぜこんなことになってしまったのか、医療安全について深く考えてもらいたいと思っています。

先生からは、「メッセージ性の強いお話をありがとうございました」とのお言葉をいただき、ちょっとホッとしているところです。

今後もこの活動を続けてまいります。 【 北陸原告団副代表 】

今後の主なスケジュール



【 裁判期日 】

金沢地裁

日 時：次回 2 月 26 日(金)午後 1 時半～

次々回 5 月 18 日(火)午後 1 時半～

場 所：金沢地方裁判所 202 号法廷

富山地裁

日 時：次回 1 月 25 日(月)午後 1 時半～

次々回 4 月 26 日(月)午後 1 時半～

場 所：富山地方裁判所 1 号法廷

※いずれの裁判所についても、現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、傍聴者の人数が制限されるなどの措置が取られており、今後、期日が取り消されることもあり得ます。

そのため、傍聴を希望される場合には、事前に担当弁護士など弁護団にご連絡をお願いいたします。

肝炎患者支援ハンドブック、無料電話相談のご報告



みなさまにもお届けした「肝炎患者支援ハンドブック」2020 年度版。窓口がバラバラで全体像が分かりにくく複雑な支援制度を 1 冊にまとめた冊子として大変好評をいただいております。「ウイルス性肝炎患者 1 人に 1 冊」を合い言葉に、1 人でも多くの患者様に手に取っていただけるよう北陸三県の専門医療機関、専門医、保健所等に配布を完了いたしました。まだお手元のない方は、担当弁護士にお声かけください。

また、B 型肝炎給付金制度について、無料で気軽に電話相談できる「ほっとダイヤル」も 8 月から運用を開始しています。

毎週木曜日(年末年始、休日等を除く)18 時～20 時、☎0120-63-0628 で、北陸弁護団所属の弁護士がご相談をお受けしています。ぜひ、お知り合いの患者様に広めてください！ 【弁護士 西山貞義】

B 型肝炎ウイルスに感染している方の

B 型肝炎給付金

ほっとダイヤル

無料電話相談

☎0120-63-0628

毎週木曜日(年末年始・休日等除く)

18 時から 20 時まで

北陸 3 県(富山・石川・福井)の地元弁護団弁護士が B 型肝炎給付金の電話相談を無料でお受けします。



編集後記



昨年末、突然の義父の死去。B 肝の私を長男の嫁として受け入れくださり、娘のように大切にしてくれた心優しい義父でした。これからは精一杯、義母を愛していきます。【川上】

12 月中頃の雪でスキー場が軒並みオープンし、初滑りに行ってきました。コロナ太りを解消できるか！？ケガしないように楽しんでいこうと思います。【藤田】

日夜闘っている場所から離脱する「旅行」は私にとって必須のストレスコントロール法。他人に接触せずいかに旅行を楽しむか。たどり着いた答えは貸別荘。探せば意外に安い貸別荘がたくさん。お勧めは白馬。今年は 3 回滞在しました。【西山】

重度の脂肪肝と指摘されこの数か月お酒を控えています。飲まない日々慣れてきたかと思いきや、お酒を飲む夢をみるようになりました。深層心理で求めているようです。【村上】

去年は、コロナに振り回され、子年だったことを年末にようやく思い出す始末。今年は丑年らしい行事に目が届くような、穏やかな一年になることを祈念します。【中澤】